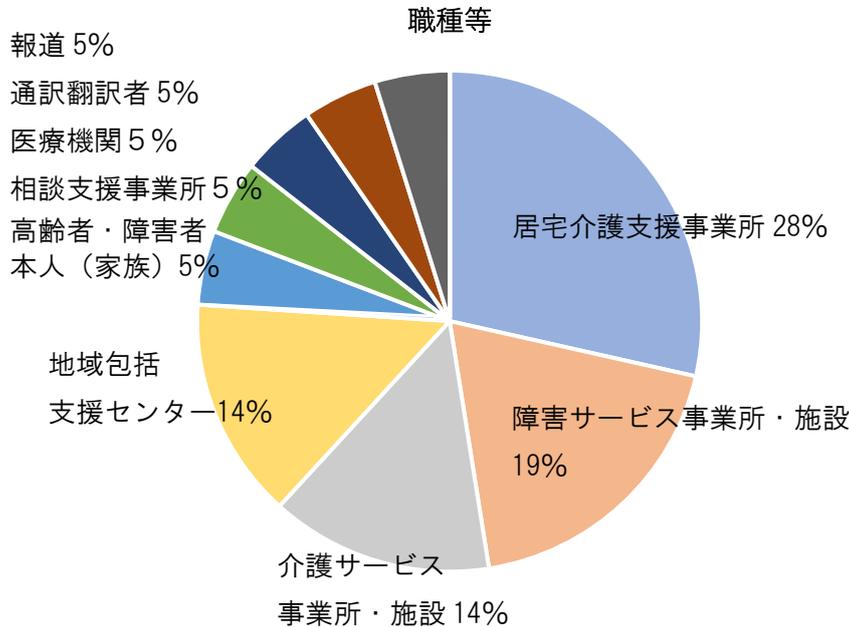


2023.2.11(土)権利擁護セミナー

「障害者権利条約の国連勧告から見た日本の実態を知り、考える」振り返り

特定非営利活動法人宮城福祉オンブズネット「エール」

参加者（オンライン・会場）：85名



【項目①】講義「障害者権利条約の国連勧告から見る日本（宮城県）の問題」の講義を受けて、感じたこと、思ったことはなんですか。

- ・これまでの歴史を学ぶことで今の制度や法を理解することができました。善意について過信せず様々な知識をもつことで物事を考えられるようになりたいと思いました。
- ・考え方が諸外国に比べて遅れていることが驚きでした。
- ・希望。
- ・日本の現状を知ることで、その格差があることに気付かずにいる事に恐怖を感じる。
- ・障害者の権利といえども、障害者というくくりではなく、一人の人間として、どうあるべきなのか、という事を普通に、当たり前、考えていけるような暮らしの実現が出来ればいい事なのかなあと感じました。
- ・大阪からの参加だったので初めピンとこなかったのですが、宮城問題、日本の問題と向き合えて大変他人事では無い様に思えました。
- ・相談援助職としての業務の中で感じていた違和感は、当事者の権利からみた時に不適切な状態も含まれていたことを実感できた。同時に、日常の生活の中で「当たり前」のこととして過ごしていたことが権利侵害につながることに気付かされた。認知症も障害として条約の対象に含まれるまでの取り組みには感銘を受けた。その活動があったことで認知症でも社会に取り残されることなく生活を営む、今当たり前に取り組むこととされている状態になったことに、歩みを続ける大切さをみたと思う。
- ・分からないことばかりだったので、知ることが出来てよかったです。外国と日本の違いも知り自分の中で考えさせられました。

<p>・知らなかったことがほとんどであったので、知ることができて良かったです。条約そのものだけでなく、その背景や国がしていることは果して本当に条約に則っているのかという視点も知ることができ、勉強になりました。仕事上の支援の対象は高齢者の方ですが、特別支援学級やインクルーシブ教育についてとても興味深いというか知りたいなと思いました。教育の現場、場面がそのまま社会に通ずるという点で、確かにと思いましたし、せっかくの義務教育という制度がその部分で(いろんな人がいて当たり前ということや合理的配慮が当たり前ということという考え方を学ぶというか自然であること)生かされないのが本当にもったいないなとずっと思っていました。そして自分だってできているか?と考えさせられました。</p>
<p>・認知症当事者の丹野智文さんのお伴でパラレルレポート作成委員会に参加したり、対日審査をネットでモニター&サポートしたりしておりました。その後、来日された対日審査時の権利委員会・委員長のリトアニア人の方が、課題として、1. RBAの確立と実施、2. 独立人権機関の設立、これを目指してやってほしい、との見解。まずはこれをそのまま受け止め、今日の講義で勉強させていただきました。</p> <p>桜についての発言が象徴する日本的な特質-情緒的に豊かだか論理性が希薄-を踏まえて、日本人たちが腑に落ちるような感覚をさぐっていきなさいと思いました。大橋先生のパワフルなお話の最後にあった魯迅の引用、深くうなずきました。</p>
<p>・国内において知らずに決められていく法律や条約について、研修の中でも多々ある事について違和感と驚きがあり、障害福祉サービスを運営する自身の学びの低さを何より反省しました。</p>
<p>・自分自身の知識不足から内容が難しく感じて、初めは頭に入ってきませんでしたが、徐々に「何で知らなかったのだろう・・・」という思いがしてきました。講義の中で、知り・理解する事が大切で、その上でどう考えるのかというお話があり、私自身、今日知れたことを前向きにとらえ、次は理解して考えられるようになり、そして小さな事であっても何か行動できるようになりたいと思いました。心に刺さる言葉がいくつもありません。しっかり心に留めて明日からにつなげたいと思います。</p>
<p>・大橋弁護士や小湊様、山崎先生など、宮城県を動かすことができるほどの方々のお話を伺うことができ、光栄でした。また、自分がどれほど微力かもわかった。しかし、今回参加したことで、その小さな力を地域に伝えていくことも大事と感じております。ありがとうございました。</p>
<p>・意思表示ができる方もいれば、できない方もいる、信頼できる家族・親族もいない方もいる。意思表示ができて、意思決定ができないこともある。その中で一律にこうした方がよい(施設⇒地域移行や支援学校、後見人等)と言うことはできません。一方ではこうしてほしいという人もいれば、それでは困るという人もいます。可能な限り、全ての人の思いをかなえられるような制度、受け入れることができる制度が共存すればよいと思います。</p>
<p>・国連勧告の内容は初めて聞く事ばかりで、とても興味深かったです。明日に自分が障害者になったとしたら、と思うと他人事ではないと思いました。優生保護法で堕胎を強いられていたことは、昔の事のように思っていました。そういえば、テレビで裁判をしている思い出しました。障害者になりたくて、生まれてきたわけではないのにと思いました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・改めて日本の精神科医療が抱える問題とどう向き合っていくべきか、今の自分達に出来ることは何なのかを考えさせられた時間でした。患者の身の安全の為・・・と説明不十分に入院となっている強制入院の現状や身体拘束、地域住民の理解が得られないからと働きかける前に諦めている現状を今一度見直していかなければならないと切に感じました。この現状を変えていくことはすぐに出来ることではありませんが、まずは今の自分出来ることをしっかりと考え、取り組んでいきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者権利条約の条文を読みながらの説明があり、そもそもが理解できました。 ・障害者政策委員会のほかに当事者組織があり、パラレルレポートが提出されていることを知りました。日本がいかにもダメなのか、改めて感じたと同時に、黙ってはいはますますダメになるから、動きをおこさないといけないとも感じたところです。
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者でひとくりにせず、個人で見ることの大切さが改めて感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・知らない。ということについての不安を感じた。大橋先生が話すところの絶望に近いと感じた。宮城県で優勢保護のこと、船形コロニーのことが起こっていたことについて知らずに過ごしていた。そのようなことが自分たちに降りかかるかもしれない不安。知らないということで、無知に他人の権利を侵害していたかもしれない不安を感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の大橋先生の講義で国で定められた障害者権利条約の中身を詳しく教えていただき、障害者の人権を尊重する為に作られた条約であると考えられるか、個人的にそれに反しているものであるのではないかと感じました。わたし自身、障害児支援に携わっていますが、24条の教育の部分で特別学級の児童が半分以上普通学級で過ごさないようにすることの部分に疑問に思いました。実際子供たちと関わると普通学級にいくことで友達との交流があり、新たな学びができると伺ったことがありました。なのでこの文章はおかしいのではないかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・業務上、施設入所の方に定期的に訪問し、施設生活について話をすることがあります。聞き手の私が、施設生活を前提に話を聞いたというところに気づき、出発点が違っているなど感じました。世界の流れからズレている、ズレたままの感覚で利用者さんと接していたということを自覚して、今後は関わらせていただきたいと思います。 ・脱施設化、セイフティーネットの考え方という視点から、今の法人の方向性や利用者支援の考え方を改めていかないと、誰からも選ばれなくなる施設になってしまうのではないかと危機感を感じました。一方で、利用者さんの気持ち、ご家族の気持ち、などをもっと深く知りたいと思いました。今から取り組めることは…、入所されている方から『ここ（施設）で暮らして良かった』とほんの少しでも感じてもらえるように支援させていただくことだと思いました。

<p>【項目②】 話し合い、意見交換をして、感じたこと、思ったことはなんですか</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・各々の職種で本人に沿った支援のあり方や悩みを聞いて、同じようなことを考えていたりすることに少し安堵しました。一個人として人として支援を考える機会になりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・皆で勉強する意味、忘れるから繰り返し学ぶ必要性を感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・権利とは、それを口にするだけでワクワクする言葉であり、そういう仲間や場を持つことが重要。この会はそういう場であり、集まっている人は仲間だなあ、と思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の偏見が形成されていることに、他の人の意見を聞いて気づけたことが嬉しく思う。

<p>・今があるのは、過去の歴史があるからこそなので、過去の背景やその時の実情等、学んでいく事が大切である事。何も分からないで学生、社会で働いていたんだなあと恥じる自分もありましたし、とても考えさせられるとても良い機会でありました。</p>
<p>・講義の内容は支援を行っていく中では欠かすことはできないと参加者の誰しもが抱いており、業務に追われる中であっても、権利を尊重できているのかなど振り返ることが大切であると感じた。また、悩んだ時にこそ、今日の講義の内容に立ち返って考えることが有用である思った。業務の内容は違えども、同じようなことを悩み考えていると知ることができたのは、現在進行形で当事者支援に悩んでいる私にとってはとても良い機会であった。</p>
<p>・いろんな考え方がある。自分はどうか、偏ってるかな。大丈夫かな。など考えさせられました。</p>
<p>・ブレイクアウトルームは、あと2分ぐらい増やしていただいてもよかったかも知れないと感じました。山崎先生がおられるグループでしたので、勉強になるお話を聴くことができました。最後に小野さんが発表してくださってよかったです。</p>
<p>・グループワークにて、権利擁護についての思いや理解している事柄が同様に通じる内容や学べる内容が多く、実際に会ってそれぞれの現場の内容を更に意見交換したいと感じました。</p>
<p>・グループ構成が贅沢すぎてとても運が良かったと感謝です。その中で自分自身の知識の無さや考えの浅さ等を痛感し恥ずかしくも感じましたが、それでも皆さんは肯定的にお話を聞いてくださり、前向きになれるようなワクワクするようなお話を聞かせて下さりとても良い時間でした。</p>
<p>・中心になってお話をしていただく方がおり、経営者としてのノウハウを伺い事ができました。</p>
<p>・それぞれが異なる職場であっても、お互いが抱えているジレンマや課題、向いていくべき方向性は同じだと感じる事が出来ました。1人の力、声ではどうにもならないことも同じ方向性を向いていける人達がいるということがとても心強く感じられた時間でした。はじめてお会いした方ばかりでしたが、ZOOMの環境でも話やすく充実した時間を過ごすことが出来ました。</p>
<p>・共感できる意見も多数上がり参考になりました。</p>
<p>・同じグループの方は、経験値も違う方ばかりで、みなさんが良く勉強なさっている関心しました。ケアマネージャーは色々広く勉強が必要と痛感しました。認知症の人が悪いのではなく、周りの関わり方が悪いから、ということも、わかりますが、関わり方で変わらない方もいて、毎日、大変な思いをしている家族がいる事も事実です。そこは、こちら側の関わり次第でどうにもならない時は施設でも、良いと思います。介護者が、離職し苦しまなくてもいいと思います。この考えはケアマネージャーとしては、失格なのでしょうね。</p>
<p>・日々の支援で悩みながら支援しているが、他の方もそうなんだと感じた。</p>
<p>・どうしていきべきか。はまだまだ分からないが、何とかしないといけないと思うメンバーがたくさんいることを知れたことがとても良かった。そして、みんなも迷い迷いやっているが、考え続けている。というところを知れたことも良かった。</p>
<p>・仕事での立場と自分自身の立場の思いが交差することがあることがわかりました。</p>

- ・いろいろな職種の人とお話する中でやはり、権利擁護についての知識が不十分な方が多かった印象があります。しかし、話し合いを積み重ねていくうちに自分は支援していくなかでここが違ったかな？っていうような話にも最後の方にはなりました。今後の支援に繋がられるいいですねという話で最後は終わりました。
- ・今の考え方が共有できたことが純粹にうれしかったです。そんなの無理…ということではなく、こうなっていったらいいな という希望が他の方と共感できると感じられたのが、自分の励みになりました。

【項目③】 その他、このセミナーで感じたこと。思ったこと。ご意見等。
・ ZOOM 参加で途中退席という形になってしまいましたが、お許しください。無料で開催していただけるのは非常にありがたいことです。これからも継続してください。
・ 医師や弁護士の方の話を伺えて参考になりました。多職種で勉強したいです。
・ 面白く、ためになり、希望を感じた。大橋先生は話すのがうまい。
・ こういった機会があったらまた参加させていただきたいと思いました。
・ 「いつでも受けられるセミナーである」と、大変良いと思う。
・ 今回のテーマと講師の先生が弁護士さんであったので、研修内容についていけるか、とても不安でしたが、グループワーク等で意見をお聞きしながら、皆様と語れる機会を得てとても学びある深い研修となりました。講師の先生の生のご感想が聞けてとても得をした気分になりました。ありがとうございました。
・ 現在、当事者支援の難しさを感じ、相談支援業務を継続することに困難を感じている只中にいる。その状況において、支援の軸の一つを学ぶことができたと同時にその重圧に耐えられるか不安に感じた一面もあった。ただ、参加者同士の意見交換や話し合いを通して相談支援業務を続けていく力をもらえたような気がした。ZOOM 参加のため、対面ほどスムーズでもなく、限られた時間ではあったものの、専門家の話を聞いたり、他の支援者の話を聞くことができたのはとても有意義であった。
・ 大変難しい問題であり、しかし身近にあることととらえることができました。人としての権利はその人の物であり、中心に考えることの重要性を支援に生かせればと思う。
・ 国が行政が学校が障害者権利条約に則って良くなったらどんなにいいだろう、と思いますが、まずは自分の周り、目の前の人たちに対し、「私大丈夫？偏ってない？決めつけてない？」という意識を忘れないようにしたいと思います。
・ このような場を作り続けてくださっていることへの敬意と感謝。毎回、深い励ましをいただいています。また参加者の年齢層が若く、話し合いでも元気をいただきました。山崎瀬先生の「権理のワクワク感」、大橋先生の「恐怖の克服」、すべてをつなぐ、小湊さんの司会&ファシリテート、本当に濃いセミナーでした。指名発言はいつも抜き打ちなのでですね。思えば、大変光栄なことに毎回どこかで発言させていただいておりますが、なかなか言うべきことをとっさにサッとお伝え出来ません。精進いたします。
・ セミナーの最初の 30 分間は内容が難しく感じましたが、次第に国際社会と国内の違いが理解でき、特に国内の障害福祉に関する精神疾患の方々の現状の内容について、先日当事業所の新規契約した利用者家族から各入院において不穏な待遇をうけた経過の話があり、自身に何ができるか、今後の方向性など深く考える機会になりました。まずは、大

<p>熊一夫著：精神病院はいらない「自由こそ治療だ」を読ませていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>・ももっとも知り・理解を深める必要があると感じました。小さい事でも、自分ができ る事を考えて行動する事で道となっていくんだという事をしっかり心に留めて、前向き にワクワクしながらブレずに進んでいきたいと思います。</p>
<p>・研修会に参加された方々の顔ぶれを拝見し、この課題にもっと精神科医療に携わる人達 が興味関心を持つべきだと感じました。精神科医療の改革は、医療保護入院一つとっ ても医師等の反対により思うように進まないのが現状です。どこか変えられないものと思 っている人もいないのではないかと感じてしまいます。この課題に興味を持ってもらう機 会を作れるよう、自分の出来ることをやっていきたいと思います。大橋先生、小湊さん をはじめ企画・運営頂きました皆様、長時間ありがとうございました。</p>
<p>・大橋先生、小湊様の教えて頂いた情報を事業所に持ち帰り、こちらでも話合えれば良い なと思いました。</p>
<p>・先日、盲聾の方からの相談を受けて、T市にお願いをしにいきました。音声も普通文字も 使用できず、点字と触手話だけが頼りなので、広報紙等の点字版発行のお願いをしまし た。案の定、予算がないからできないと断られました。自分で探して頼めないのかとの 発言もありました。「一人も取り残さない、世界で一番住みやすい市を目指す」という公 約は、どこにいったの???という対応。非常に厳しい現実の壁を日々実感しています。</p>
<p>・今の自分は、五体満足に生まれ、普通に生活が出来ている事に感謝しなければいけない と思いました。</p>
<p>・具体的にどう。はまだまだ分からないが、知らないということで、無知に他人の権利を 侵害していたかもしれない不安を感じた。大橋先生の話で言えば絶望に近いものを感じ た。自分がやっていること、身の周りにある制度や文化などのことを含め、当たり前と 思ってきたことが本当に正しいのか？考え続ける事の大切さ、自分たちのあたりまえが 本当に正しいのかを考えるためには、他と比べる。ということの大切さ。今回も日本を 世界と比べたからこそいろいろ気づきがあったと感じる。 そしてその様に考えていくための動機づけとしては、やはり「自分ごととして捉える。」 だからこそ、興味も湧くし、疑問があれば深く考える事になるんだろうと思う。以上が気 づきでした。この気づきについては、大橋先生が話した中の希望に近いことだと感じた。 知って考える。絶望と希望。本当にテーマの通りだったなと感じました。</p>
<p>・支援者側や家族の意見ではなく、利用者の意見・気持ちを尊重しできる限り寄り添って いきたいと思いました。</p>